

調査相談(レファレンス)事例紹介 1



Question

『智恵子抄』で有名な高村光太郎の妻：智恵子が入院していた際の主治医が群馬県出身の方だったと聞きました。
どんな方ですか？



Answer

高村智恵子の主治医をつとめていたのは、斎藤玉男という精神科医でした。斎藤玉男は、明治 13 年に群馬県南勢多郡苗ヶ島村に生まれ、祖父に国学者で医師の斎藤多須久がいます。群馬県尋常中学校（群馬県立前橋中学校・現在の前高）、仙台の第二高等学校（現在の東北大学）、東京帝国大学医科大学を経て、ジョンズ・ホプキンス大学へ留学しました。ジョンズ・ホプキンス大学ではアドルフ・マイヤー教授に師事していましたが、このマイヤー教授を紹介したのは野口英世だそうです。

帰国後、大正 12 年に東京品川にゼームス坂病院を院長として開設。そのゼームス坂病院に高村光太郎の妻：智恵子が入院し、主治医となりました。ゼームス坂病院は現代の開放病棟のような形態をとっており、当時としては時代をはるかに先駆けたものであったようです。

文学にも関心が深く、第二高等学校在学中には、群馬県尋常中学校の交友会雑誌「坂東太郎」に詩を寄稿していました。巣鴨病院医員時代の後輩、斎藤茂吉と親交があり、萩原朔太郎とも交流があったとされています。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① 斎藤玉男 医学博士の生涯	大崎 厚志 [群馬県地域文化研究協議会]		[2020]	17343344
② 上毛紳士録	上毛と京浜社編集部／編	上毛と京浜社	1913	01611219
③ 宮城村誌	宮城村誌編集委員会／編	宮城村	1973	00421784
④ 智恵子相聞 生涯と紙絵	北川 太一／著	蒼史社	2004	09966664
⑤ 戦前合州国に留学した精神病学者たち	上 岡田靖雄	日本医史学会	1994	所蔵なし

※⑤の資料は、日本医史学雑誌第四十巻第三号に掲載された論文であり、インターネット上で閲覧可

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008